

(別紙1)

## 企画提案書作成事項

企画提案書は、以下の項目について、任意の様式により作成すること（【任意】の項目については該当する場合のみ作成すること）。企画提案書は、A4判30頁以内とし、図、写真、資料等を利用して企画提案書の内容をイメージしやすいものとする。なお、動画、外部リンクその他企画提案書に収録されていない資料及びページ超過部分は審査対象外とする。

### 1. 運営方針

横山集団施設地区の利用実態・課題を具体的に述べた上で、同地区における制度趣旨、事業ビジョン・目指すべき活用方針や利用者サービスのあり方等について示すこと。

### 2. 業務の実施体制・人員配置

以下の事項について示すこと。

- ・ 運営体制図（配置予定責任者（統括責任者、現場責任者、防火管理者、防犯責任者、衛生責任者、保全責任者）及び従業員の配置、再委託業務とその管理も含む）。
- ・ 配置予定責任者の資格・経歴・実績。
- ・ 職員研修の内容及び実施頻度等。
- ・ 災害対応及び緊急時の連絡体制（フロー図を用いて示すこと）。

### 3. 対象施設の運営方法について

以下の項目及び事項について示すこと。

#### ① 運用期間及び時間、並びに利用料金・運賃

- ・ 一般運用及び有料シャトル運用について、それぞれの運用期間と運用時間について明示し、その考え方、周知方法、安全を確保した運用・人員配置方法について示すこと。
- ・ 一般運用時の利用料金及び有料シャトル運用時の運賃について明示し、想定される年間の収入と支出（保守管理水準及び利用者サービス等）の配分とその考え方、減免・合理的配慮の考え方を含めて示すこと。

#### ② 利用者への説明案内・現場運営

- ・ 利用者への事前案内、現場での駐車場満空案内や誘導など、具体的な内容について示すこと。

- ・ 利用者からの苦情対応、合理的配慮、制度や運用に関する説明について、多言語対応やアクセシビリティ対応も含めて具体的に示すこと。

### ③ 有料シャトル便

- ・ 有料シャトル便の適法性を示すこと。
- ・ 有料シャトル便の運行内容（想定車両、便数、利用者対応等）について具体的に示すこと。
- ・ 安全管理・運行中止基準及び混雑対応を示すこと。

### ④ 交通・安全・緊急対応

- ・ 一般運用時、有料シャトル運用時及び時間外閉鎖時の安全・防犯運用について示すこと。
- ・ 歩車分離、事故防止、停電、災害、夜間、BCP、出動時間、有料シャトル運用時の一般車両進入抑止、安全誘導について、各項目について具体的に示すこと。

## 4. 業務継続性・収支見込み・収支管理・KPI

以下の事項について示すこと。

- ・ 令和9年1月から令和14年3月31日までの業務期間における年次計画を示すこと。
- ・ 令和9年度から令和13年度までの収支見込み（計算の根拠を含む）について示すこと。

注1）年間売上高、原価、人件費、電気料金及び水道料金、賃借料等主要な科目ごとの内容とし、初期投資額により、当該年度収支見込みが赤字となる場合には、当該赤字を解消する見込みや考え方等を記載すること。

注2）経営情報を守秘する必要がある場合は、適宜、科目等を調整して差し支えない。

注3）自主事業を実施する場合は、委託業務と切り分けて、収支見込を示すこと。

- ・ 業務の実施状況及び成果を評価するためのKPI並びにその測定方法について示すこと。
- ・ 料金の収受方法と管理、不正防止、決済セキュリティについて、一般運用時と有料シャトル運用時とを分けて示すこと。

## 5. 地域連携

以下の事項について示すこと。

- ・ 自然ふれあい推進活動に係る活動計画、考え方について記載すること。
- ・ 地域連携の取組として想定されるものがあれば具体的に記載すること。【任意】

## 6. 自主事業、収益活用

収益を活用した自主事業について具体的に提案し、それによる効果や管理事業との関連性等について記すこと。【任意】

## 7. 環境対策への取組

- (1) 環境対策への取組（グリーン購入、省エネルギー対策、3R、ネイチャーポジティブ等）について示すこと。
- (2) 応募者がISO14001、エコアクション21、エコステージ、地方公共団体による認証制度（認証期間中であるもの）等のうち、第三者による環境マネジメント認証を取得している場合は取得状況を記載し、証明書の写しを添付すること。【任意】